

調査結果のとりまとめ一覧表

項目名 会派名	本会議 (議案関連質疑) における導入	委員会における導入 (委員会審査の「充実化」について)			陳情の取扱いについて
	一問一答方式	一問一答方式	報告事項の審査時間の確保	報告事項の整理効率化 (文書質問制度)	「小田原市議会陳情審査基準」への追加を 検討すべきと考える基準
日本共産党	導入あり (選択の自由)	導入あり (選択の自由)	しっかり時間を取り、審査を行う必要がある。議案等分量が多い時は後日に回し審査すべき	必要とする合理的理由は見当たらない	無 (現行どおりとする)
公明党	現行通りでよい	導入すべき ・審査時間の圧迫を避けるための工夫が必要	件数と内容により時間がかかるが、説明を聞いて理解が深まるため、報告事項の審査時間は今まで通り必要と考える	時期尚早と考える	⑤から⑨
誠風	導入すべき	導入すべき ・文書質問制度と併せての導入を検討すべき	特段の不足を感じていない	導入すべき ・一問一答方式と併せての導入を検討すべき。効果的な運用方法等について、十分な検討が必要	①から⑨の全て
志民・維新の会	現行どおり	現行どおり	報告事項の精査、開会時間の設定により、審査時間は確保できる	反対 ・会議録に残らない ・質問内容を委員が共有することができない	無
緑風会	導入すべき	導入すべき	報告事項に関連した必要最低限で簡素な質疑答弁に努める	不要	①・③・⑤・⑨ ※ただし、③及び⑤は内容の修正意見あり
誠新	現状	現状	現状	現状	※原則として、陳情は全て参考配付とする(集計欄では、①から⑨の全てにカウント)
集計	導入すべき 3会派 現行 3会派	導入すべき 4会派 現行 2会派		導入すべき 1会派 不要 3会派 時期尚早 1会派 現行 1会派	① 3会派 ② 2会派 ③ 3会派 ④ 2会派 ⑤ 4会派 ⑥ 3会派 ⑦ 3会派 ⑧ 3会派 ⑨ 4会派